

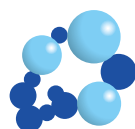


森とアースへの  
**eco**  
プロジェクト

# 森とアースへのECO-プロジェクト 平成28年 実施報告書



Create the Future  
環境開発工業株式会社



公益財団法人 北海道環境財団

## はじめに

わが社は、1976年より北海道北広島市において、自動車の使用済みエンジンオイルを中心とした廃油を重油として再生する事業からスタートいたしました。

今年で41年を迎える今では、廃油の再生のみならず、様々な産業から発生する廃棄物を可能な限り再資源化・燃料化等への再生を行うことで、「持続可能な社会」の形成に少しでも貢献できるよう、日々努力しております。

そうした中、一昨年より、お客様と弊社による環境・森林保全の推進を目的とした社会貢献活動として、北海道環境財団とともに「森とアースへのECO-プロジェクト」を立ち上げました。本年は、プロジェクトにご賛同いただいた弊社のお客様7社の「使用済み廃油」を1ℓ=0.5円に換算し、「アースポイント」として弊社から環境財団に寄付を行い、上士幌町、南富良野町の「森づくり」を支援させていただきました。また、森づくりの支援に加え、昨年10月に発生した台風10号の大雨被害に見舞われた南富良野町へは、寄付の一部を義援金としてもお届けしました。

私たちが生活する北海道は、日本の中でも特に豊かな森林や自然環境に恵まれていますが、この豊かな環境を次世代に繋いでいくためには、木を植えることはもちろんのこと、森林の管理や活用など様々な視点で森林の保全を行い、CO<sub>2</sub>削減を初め、生物多様性の保全活動にも貢献していかなければなりません。

私どもが生きるうえで必要な自然や資源は「無限」に見えても「限り」があります……。そうした恵みを持続的に享受するには、自然・資源を大切に扱い、再利用や再生を行い、そして可能な限り循環させることが求められていると考えます。

今後とも本プロジェクトへの参加、賛同できるよう、社業を通じて循環事業の継続に貢献してまいります。

環境開発工業株式会社  
代表取締役 高澤洋一

### ご賛同企業7社様 【五十音順 敬称略】

札幌トヨタ自動車(株)／札幌トヨペット(株)／札幌日産自動車(株)  
北海道エネルギー(株)／北海道日産自動車(株)／北海道マツダ販売(株)  
北海道三菱自動車販売(株)

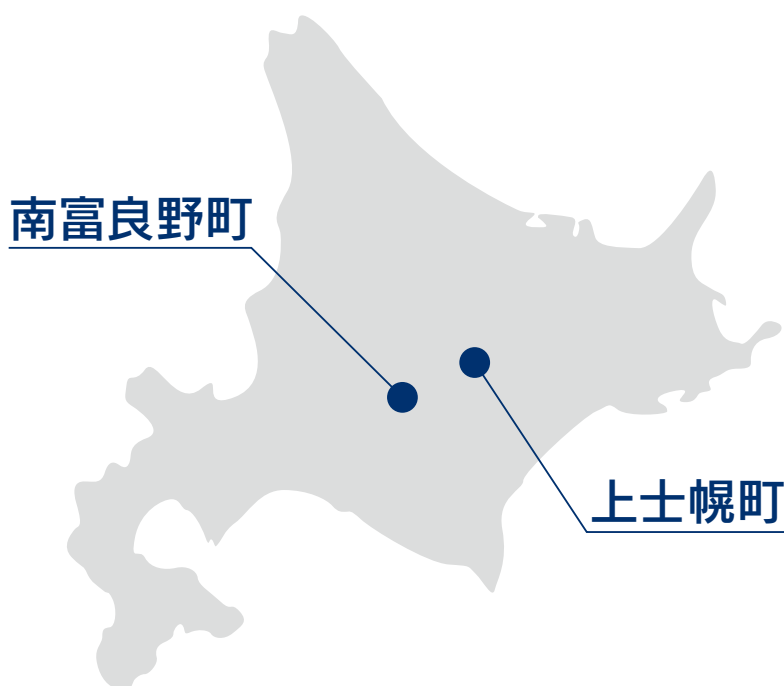
## 平成28年 実施実績概要

北海道は、全国の4分の1の森林面積を有する森の大地です。

森林は地球温暖化の原因となる温室効果ガスを吸収するなど豊かな生態系サービスをもたらす貴重な資源です。こうした森林の保全を図るためには、適切に人の手を入れて、管理・活用することが必要です。道内では、森林の価値を積極的に評価し、その保全・活用に努める自治体が多数あります。

環境開発工業株式会社と北海道環境財団は、こうした道内自治体と連携して森とアースの恵みの保全活動を推進するべく「森とアースへのECO-プロジェクト」を立ち上げ、道内各地において取り組まれている森林保全活動を支援いたしました。

平成28年は、南富良野町、上士幌町の2町を支援対象自治体といたしました。



### 実績概要

- 対象自治体:南富良野町、上士幌町 ●面積:66.5ha
- 支援施業内容:下刈(上士幌町)、植樹(南富良野町)
- 施業樹種:カラマツ ●事業期間:平成28年5月~8月



# 北海道上士幌町

上士幌町は、北海道の十勝平野北部、大雪山国立公園の東山麓に位置し、総面積のうち76%が森林です。この東大雪の山々を水源とする音更川が町の中央部を流れ、美しい四季と雄大な自然をもたらしています。産業は、畑作、酪農などの第一次産業が盛んですが、日本一の広さを誇るナイトイ高原牧場、北海道遺産旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群など観光資源も豊富です。

こうした豊かな環境に恵まれた上士幌町では、多くの町民もまた、その自然や資源、文化や風土を大切に思い、また

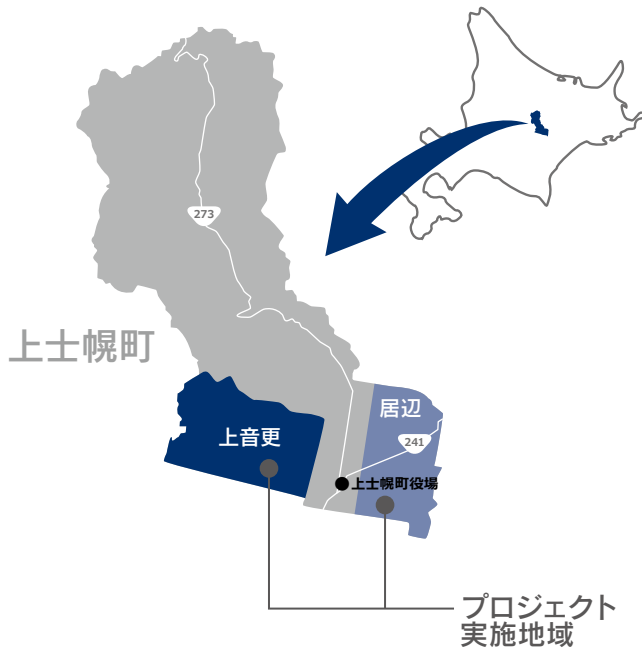
誇りとしています。そこで町としてもそうした豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために、地域として地球環境の保全に貢献することを掲げ、森林の維持・整備に取り組んでいます。

当町では、間伐等に代表される適切な森林施業を推進しています。こうした施業の結果生じる二酸化炭素の吸収量の一部は、カーボン・クレジットとして認証をうけ、その活用にも取り組んでいます。今後も継続的に森林の保全に取り組むことで、次世代に引き継ぐ良好な自然環境の保全や、森林の公益的な機能の維持・増進、くわえて、林業を通じた地域の活性化にも努めています。



# プロジェクト実績のご報告

上士幌町は、ニペソツ山、石狩岳、クマネシリ岳等に囲まれた十勝圏の最北部、大雪山国立公園区域が多くを占めており、広大な森林を有しています。その面積は53,270ha(約533km<sup>2</sup>)にもおよびますが、ほとんどは国有林が占めており、町有林はほんの一部(2,880ha)です。町有林のおよそ半分は人工林であり、主にカラマツを主体としています。この度は本プロジェクトの一環として、以下の概要で下刈を行います。



## 実績概要

- 場所:上士幌町居辺・上音更地区
- 面積:約59ha
- 樹種:カラマツ
- 作業内容:下刈
- 作業時期:平成28年6月下旬~8月上旬

## 上士幌町の産業・特産品のご紹介

上士幌町は、畜産を中心とする農業が基幹産業であり、肉牛では上士幌町が誇る2大ブランド牛として「十勝ナイタイ和牛」、「十勝ハーブ牛」が有名です。ほか、主要な農産物として小麦、馬鈴薯、てん菜、豆類が多く栽培されており、年間9万トンもの生乳も生産されています。





# 北海道南富良野町

南富良野町は、北海道のほぼ中央に位置し、四方を山に囲まれた富良野盆地に位置しています。町の総面積の約9割を森林が占めているほか、東西には空知川が流れ、また町の中央にある人造湖「かなやま湖」は、多くの観光客に親しまれています。

基幹産業は農業と林業で、昭和40年代には1万人を超える人々が住んでいましたが、現在の人口はおよそ2,600人です。豊かな自然を活かした観光振興に取り組むとともに、幻の魚といわれる「イトウ」を保護することを目的とした条例を定めるなど、生物多様性の維持・自然環境の保全の推進にも取り組んでいます。

本町では、豊かな森林に恵まれた地域の森林生態系サービスを賢明に活用することが、地域コミュニティの持続に資するという考えを基に『山づくりは町づくり』というコンセプトを掲げて、森林保全に取り組んでいます。豊かな森林を保全することは、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の吸収に寄与することに加えて、本町の豊かな自然環境を象徴する「イトウ」や「ヒグマ」など、地域生態系の保全にも大きく寄与しています。



# プロジェクト実績のご報告

南富良野町の森林面積は59,030ha(約590km<sup>2</sup>)にもおよび、カラマツ及びトドマツを主体とした人工林が約3割を占めています。町有林はそのうち2,702haを占めるにすぎませんが、「南からの町有林間伐によるCO<sub>2</sub>吸収促進プロジェクト」として主に間伐の推進をはかり、森林による二酸化炭素の吸収量をカーボン・クレジットとして認証もっています。

この度は本プロジェクトの一環として、以下の概要で植樹を行いました。



## 実績概要

- 場所:南富良野町字東鹿越 ●面積:7.5ha
- 樹種:カラマツ ●作業内容:植樹(約13,800本)
- 作業時期:平成28年5月末~6月中旬

## 台風10号による大雨被害に対するご支援のお礼

南富良野町は、2016年8月末の台風による記録的な集中豪雨により、これまで経験したことがない自然災害に見舞われました。被害は広範囲に及んでおりますが、復旧・復興に向けて懸命に取り組んでいるところです。

そうしたなか、平成28年11月30日に、本プロジェクト事務局を介して、義援金のご提供をいただきました。本プロジェクトに賛同されました各位のご支援に、心から感謝とお礼を申し上げます。



## 環境開発工業株式会社

### [所在地]

北海道北広島市北の里41番地27

TEL: 011-373-2728 FAX :011-373-2499

### [概要]

廃油並びに産業廃棄物の収集運搬及び処理事業、再生重油販売事業を目的とし「(株)廃油処理センター」を1976年に設立。

1987年に「環境開発工業(株)」に社名変更し、循環型社会形成のために、極力、埋めない、焼かないを目標に、リユース・リサイクル等の循環処理品目拡大に努めています。

## 公益財団法人 北海道環境財団

### [所在地]

北海道札幌市中央区北4条西4丁目1

伊藤・加藤ビル4階

TEL: 011-218-7811 FAX :011-218-7812

### [概要]

市民・民間の環境保全活動を支援するため、北海道の出資により1997年に設立。

1999年には、地球温暖化対策推進法に基づき「北海道地球温暖化防止活動推進センター」に指定、温暖化防止活動の支援や啓発・広報活動等に取り組んでいます。